

● 健康一口メモ

「抗癌剤の効き目の多様性」

公立刈田総合病院
副院長 佐藤 春彦

統計では、毎年30万人もが癌で死亡する。癌という病名は、悲惨で壮絶な終末を想像させ、人々を暗澹（あんたん）とした恐怖に陥らせ死という実体験のない状態への不安をかきたててきた。

一方我々の中には、全てのものが有限の生命体であるという認識があり、個人差はあれ未体験状態を受容する準備が作られる。

死の不安や恐怖は、存在が消えることに派生する。死が存在の消滅ならば、存在とは何かと問うことができる。存在とは何をしているか、何処にどの様に足跡を残せるかであろう。生まれ育ち朽ち果てる過程で

人それぞれに彩（あや）なす日々の生活自体がそれである。死を見ることは、生を思うことである。ならば癌が難治であろうともそれを受け止めて、己の人生の存在をより充実すべく努力する過程こそが癌が与えてくれる試練や恩恵ではなからうか。

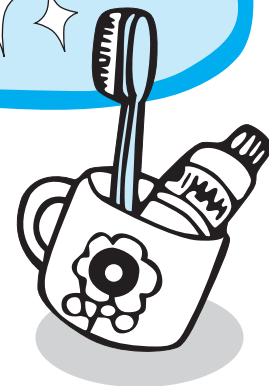
癌診療もそんな観点から個々の患者家族の苦痛苦悩を軽減させる任務がある。抗癌剤の副作用や効果のみに眼を向けず、癌を担った人生自体にも注目したい。人は、心も体も個々に異質だ。癌細胞にも個性がある。薬の反応も多様である。

全員集合

むし歯の ない子

今回の3歳6カ月児健診で虫歯の無かったお子さんです。ずっと健康な歯でいてね！

日下 侑那ちゃん (福岡八宮)	大貫 彩ちゃん (郡山)
西山 歌音ちゃん (南町)	青木 美月ちゃん (沢目)
小室 悠理ちゃん (福岡蔵本)	土門 蓮くん (旭町)
大庭 祐紀くん (南町)	芳賀 達彦くん (鷹巣)
秋田 絃徳くん (福岡長袋)	相川 太一くん (郡山)
大槻 咲良ちゃん (鷹巣)	山田 寛人くん (城南)
海藤 健也くん (城南)	石川 友佑くん (越河平)
朝倉 康大くん (旭町)	日下 美嶺ちゃん (新館町)
設楽 健太くん (田町)	亀岡 倫太郎くん (福岡蔵本)
佐藤 祐輝くん (兔作)	大槻 優衣ちゃん (大平森合)



虫歯を早く治して メダルをもらおう！

虫歯ができてしまったら治療しなければ治りません。特に、子供の虫歯は進行が早いので、早めに治療することが大切です。

そこで、平成10年4月から「むし歯のない子」の対象児に治療を終了したお子さんも含まれることになりました。ぜひ、虫歯があるお子さんも3歳6カ月健診までに、虫歯を治してメダルをもらいましょう。

☎健康推進課 ☎22-1362